

(案)

令和元年度(2019年度)エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務(釧路地域)処理要領

第1 目的

本業務は、北海道内においてエゾシカの生息数や農林業被害等がいまだ高水準であることから、地域で行われている他の捕獲事業と連携し、地域内でエゾシカ捕獲が行われていない箇所での捕獲を道が行うことにより、事業実施地域周辺のエゾシカによる農林業及び生活環境に係る被害、生物多様性に及ぼす影響等を減少させるとともに、地域全体のエゾシカ捕獲効率向上を目的とする。

今回捕獲予定地は、釧路市内の目撃や被害の増加による苦情が多数あるため、エゾシカの市街地対策及び市街地侵入対策を行うものであり、エゾシカの侵入を直接排除・進入経路の一部と予想される郊外での捕獲を実施するものである。

第2 業務内容及び実施方法

本業務では、事業実施地域における関係者や専門家からなる調整会議の助言を得ながら、鳥獣保護区等の他の捕獲事業が行われていない箇所において、捕獲事業を実施する。

なお、具体的な箇所及び捕獲手法、捕獲目標数等は別紙捕獲実施計画によることとし、捕獲実施にあつては道が作成した「鳥獣保護区等規制地域におけるエゾシカ捕獲手法マニュアル」(以下、「捕獲手法マニュアル」という。)第7章から第10章に基づくほか、次のとおりとする。

1 業務処理計画書及び従事者証交付申請書の提出

委託契約書第4条により提出する業務処理計画書については、業務の実施体制や従事者等の氏名・所属、処理日程、緊急時の連絡体制等を記載することとし、契約締結後速やかに業務担当員に提出すること。

また、従事者証の交付申請書(別紙様式1)に必要な事項を記入の上、併せて提出すること。

2 事前調査の実施

事業実施にあたり、現地踏査及び市町村や地元狩猟者等からの聞き取り、必要に応じ道が貸与する自動撮影カメラによる調査等によりエゾシカの出没状況等を把握し、また、既存のデータを使用するなど、より効果的な実施箇所を選定すること。調査にあつては事前に土地所有者や地元市町村と連絡調整を行い、円滑な実施に努めること。

3 捕獲作業計画の策定

捕獲実施計画及び事前調査の内容を踏まえ、業務担当員と確認・調整を行いながら捕獲作業計画を策定すること。捕獲作業計画においては、捕獲事業内容、安全管理体制、関連する法令・規制、捕獲個体の記録・処理方針等を記載すること。なお次の点に留意すること。

(1) 捕獲事業内容

猟法及び捕獲手法、実施位置、体制、回数、スケジュールなど実作業に関する具体的事項を記載すること。

(2) 安全管理体制

連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図等を記載すること。また周辺住民等に対する周知体制、事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制を記載すること。

(3) 関連する法令・規制

関連する法令及び条例等に関し、必要な申請内容(申請先及び必要書類等)を記載すること。

(4) 捕獲個体の記録・処理方針

捕獲個体の記録方法について記載するとともに、有効活用に向けた対応方針を記載すること。

4 調整会議での事業説明

実施地域において、道が開催する調整会議に出席し、地域の関係機関との調整及び地域住民等への安全管理の確保のため、事業計画について説明を行うこと。その際において修正・変更などを求められた場合には、改めて業務担当員と協議を行い、適宜対応すること。

また、捕獲事業終了後において開催する調整会議に出席し、事業成果について説明を行うこと。

5 捕獲の実施及び注意事項等

各地域において3で定めた捕獲作業計画に基づき捕獲を実施すること。なお、捕獲手法について捕獲実施状況等に応じ変更する必要があるときは、業務担当員と事前に協議すること。

道内各地にはエゾシカ生息状況調査のため首輪や耳標を付けて放獣された個体があるので、そうした個体については可能な限り捕獲の対象とはせず、わな猟で捕獲した場合には再放獣すること。エゾシカ以外の鳥獣について錯誤捕獲しないよう細心の注意を払うこと。万一錯誤捕獲がされた場合には、原則として放獣すること。

事業期間中に、実施地域において絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第4条第3項で定める国内希少野生動植物種を確認等した場合は、速やかに業務担当員に協議しその指示に従うこと。その場合、必要に応じ道が指定する専門家の助言を受けながら事業を実施しなければならないことがあるので留意すること。なお、専門家に対する費用については、道が負担する。

捕獲事業の終了後は、設置した工作物等がある場合は速やかに撤去するとともに、跡地を風致の保護上支障のないよう整理すること。

6 捕獲個体の確認・記録

捕獲個体の確認にあつては、「指定管理鳥獣捕獲等事業交付金事業の実績確認に係るマニュアル（H29.11.14環境省自然環境局野生生物課長通知）に基づき振興局等が実施する確認作業（現地確認、処理先への搬入による確認、書類確認等）に協力すること。

この場合において、現地確認を行う場合は、捕獲のあった場所で立会し、業務担当員の指示を受け確認作業に協力すること。搬入確認の場合は、業務担当員と事前に協議し施設側から了解が得られた施設に搬入し、搬入施設が行う確認作業に協力すること。書類確認の場合は、証拠物として捕獲個体の尾を業務担当員に提出すること。

※生体捕獲で搬入施設と受託者が同一の場合（搬入施設においてトレーサビリティ管理がされている場合に限る）

捕獲個体の確認にあつては、受け入れた捕獲個体について別紙様式3により確認書を作成すること。また、事業期間中、完了後に関わらず、道の要請に応じて捕獲個体のトレーサビリティ管理記録を開示すること。

上記確認作業のほか、個体毎に捕獲者名、捕獲場所、捕獲手法、捕獲時の日時・天候、捕獲個体の状態、個体処分方法等を捕獲個体記録票（別紙様式2）により記録すること。また、記録票には、搬入確認で対応することがあらかじめ決定している場合をのぞき、次による捕獲個体等の証拠写真を添付すること。

(1) 囲いわな等による生体捕獲

生体捕獲については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影することとし、データも併せて添付すること。撮影にあつてはGPS機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）の使用に努めること。

(2) 銃猟及び止め刺しを行った捕獲個体

銃器等で止め刺しを行った捕獲個体については、足を下向きに頭部が右側になるように置き、赤色の油性スプレー等で尾を塗布し、胴部に個体番号（通し番号）及び捕獲日を記入すること。証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、データも併せて添付すること。撮影にあつてはGPS機能付きのカメラ（スマートフォンを含む）の使用に努めること。

(3) その他

エゾシカを捕獲するため、囲いわなのゲートを閉鎖したときは、その時間及び自動撮影カメラなどの画像による捕獲個体数の記録を残し、事業終了後成果品と併せてデータを提出すること。

7 捕獲個体の処理

捕獲個体は、有限会社阿寒グリーンファーム（釧路市）等に無償譲渡することとし、捕獲場所において引き渡すか、もしくはこれら法人が所有する一時養鹿施設又は食肉処理施設、ペットフード製造施設等に運搬のうえ、食肉又はペットフード等に有効活用することを基本とする。

受入先とは、捕獲実施前から連絡調整を行い、可能な限り多くの個体の有効活用に取り組むこと。なお、有効活用に適さない捕獲個体については、受託者の費用負担において一般廃棄物として地元市町村の指導に従い適正に処理すること。処理にあたっては、搬出、運搬、受入を行った記録を整理するとともに、有効活用事業者を引き渡した場合は有効活用事業者が作成した捕獲個体確認書（別紙様式3）の写し、一般廃棄物処理の場合は処理伝票等を整理し、6の捕獲個体記録票に添付すること。

また、本業務における捕獲個体については、民間施設等で公平に利用されることとしていることから、これら以外の有効活用を望む者があった場合には、あらかじめ業務担当員に協議すること。ただし、受入先は、食肉利用の場合は、保健所から食品衛生法第52条第1項に基づく食肉処理業の営業許可を受けた施設であり、かつ、道が策定した「エゾシカ衛生処理マニュアル」等を踏まえて捕獲個体の衛生的な処理に努めている施設に引き渡すこととする。なお、エゾシカ肉処理施設認証を受けている施設を優先するが、認証施設以外であっても、HACCP等による衛生管理やトレーサビリティに取り組む施設での有効活用に配慮するものとする。また、ペットフード利用の場合は、愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律第9条第1項による届出を行っている事業者であることを要件とする。

8 作業日報の作成等

捕獲事業に係る各日の実施状況について、その日時や天候、従事者、作業内容及び捕獲状況について記載した作業日報を作成すること。捕獲個体があった場合は、「6 捕獲個体の記録」により整理すること。なお作業日報の様式については、別紙様式4を参考とすること。

また、毎月末現在の捕獲状況等について、別紙様式5により翌月10日までに業務担当員に報告すること。

9 その他

(1) 道との連絡調整

ア 捕獲事業の着手時及び終了時において、業務担当員と打合せを実施すること。また、荒天や災害等の発生により、やむを得ず業務の一部が遂行できない又は遂行できないことが見込まれる場合は、速やかに業務担当員と協議し、その指示に従うこと。

イ 事業実施にあたっては既存の資料を活用するなど、円滑な実施に努めること。

(2) 安全管理体制の構築

3の(2)で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう、安全管理体制を構築すること。捕獲事業の実施にあたっては、あらかじめ捕獲場所、実施期間、捕獲手法を市町村等関係機関に周知するとともに、地域住民等にチラシを配布するなどにより、周知を図ること。

また、捕獲事業の実施期間は、実施場所への入り口等に立入禁止看板を設置し、監視員を配置するなど必要に応じ関係者以外の立入を規制すること。

従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じておくものとする。特に、本業務は、冬期間にかけて実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含め事故等のないよう十分な装備と計画のもと実施すること。

ウ 腕章等の装着

捕獲事業の従事者又は事前調査で実施地域に入る者は、腕章等を装着するとともに、1の申請により道が発行する従事者証を常に携行すること。

エ 除雪の実施

捕獲場所への通じる道路、囲いわな等の内外は、必要に応じて除雪を実施すること。

オ 関係法令の遵守

銃刀法、火薬類取締法、電波法（無線機を使用する場合）等、事業実施において関係する諸法令を遵守すること。

第3 実績報告

1 実績報告書及び成果品並びに経費明細書の内容

委託契約書第12条第1項により、本業務を完了したときに提出する実績報告書は、別紙様式6によ

り提出すること。また、成果品は下記2に基づき作成し、電子データ及び撮影写真を保存したDVD-R等を添付して提出すること。提出の際にはその内容を説明すること。経費明細書の作成にあつては別紙様式7を参考とすること。

2 成果品の仕様と体裁

成果品は別紙（成果品一覧）のとおりとし、別紙様式8を参考に作成すること。

3 作業の支障となった事案のとりまとめ

市街地での捕獲に当たり、作業上問題となったことを任意様式で整理し作成すること。

4 納入期限及び提出部数

令和2年(2020年)2月28日(金)

提出は、紙媒体(A4版)及び電子媒体(CD-ROM又はDVD-ROM)各2部とする。

第4 その他

本要領に疑義や業務を履行し難い事由が生じたとき又は記載のない細部については、業務担当員と速やかに協議し、その指示に従うこと。

別紙

成 果 品 一 覧

項 目	備 考
捕獲個体記録票	別紙様式 2 (写真添付)
捕獲個体確認書	別紙様式 3 (写真添付)
作業日報	別紙様式 4 (参考様式)
月例報告	別紙様式 5
事前調査の概要	エゾシカの生息状況やシカによる被害状況等、捕獲作業計画策定に至る経緯等。(別紙様式 8 の 1) ・「エゾシカ手法マニュアル」第 11 章参照
捕獲作業の概要	捕獲結果、餌付けの効果や捕獲手法の詳細とその効率性、実施体制、支障となった点や課題、反省点等。 (別紙様式 8 の 2) ・「エゾシカ手法マニュアル」第 11 章参照
捕獲個体の処理方法	捕獲手法マニュアルの活用状況・評価や改善提案等、その他事業実施全体にあつて支障となった点や要改善点等。(別紙様式 8 の 3) ・「エゾシカ手法マニュアル」第 11 章参照
事前調査の明細	調査日・調査場所毎の従事者数・調査内容等 (別添様式 1 (別紙様式 8))
捕獲実施における明細	出猟日・出猟場所毎の従事者数・捕獲数及び処理の概要シカ目撃数等 (別添様式 2 (別紙様式 8))
市街地での捕獲に当たり、作業上問題となったこと	任意様式
処理日程、業務担当員及び関係者との協議や打合せの内容	任意様式

注意事項

- ・ 成果品は A 4 版とし、北海道グリーン購入基本方針に基づいた用紙を使用すること。
なお、写真、図面等はカラーとすること。
- ・ 捕獲事業の実施に伴い撮影した写真(写真内には日付、撮影対象、作業状況等が分かる情報を入れる。)は、成果品への使用の有無にかかわらず、DVD-R 等に保存して提出すること。

なお、電子データは、Microsoft 社 *Windows7*形式で表示可能なものとし、作成するアプリケーションソフトについては、ワープロソフト *Just system* 社一太郎（ファイル形式は一太郎 2010 以下）又は Microsoft 社 *Word*（ファイル形式は *Word2011* 以下）、表計算ソフト Microsoft 社 *Excel*（ファイル形式は *Excel2011* 以下）を使用し、画像については、BMP 形式又は JPEG 形式とする。また、画像を除き、これらを「PDF ファイル形式」に変換して保存し、DVD-R 等及びその収納ケースには、事業年度及び業務名等をラベル等により付記すること。

- 前項成果品一覧以外に必要と認められるものについては、業務担当員と協議のうえ書類を提出させることができるものとする。

(別紙様式1)

年 月 日

北海道知事 様

申請者

主たる事務所の所在地	〒 電話番号
名 称	
代 表 者 の 氏 名	⑩

指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証の交付申請書

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第14条の2第9項の規定により読み替えて適用する同法第9条第8項の規定により、指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

指定管理鳥獣捕獲等事業の実施期間	
指定管理鳥獣捕獲等事業の実施区域	
従事者の住所、氏名、職業及び生年月日	別紙指定管理鳥獣捕獲等事業の従事者名簿のとおり

注1 氏名欄に署名した場合、押印を省略できます。

2 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

別紙（別紙様式1）

指定管理鳥獣捕獲等事業の従事者名簿

住 所	氏 名	印	職 業	生年月日	※ 銃器を使用する場合			備 考
					所持許可 番 号	許 可 年 月 日	銃 砲 の 種 類	

- 注1 ※については、銃器を使用する場合は、当該従事者が指定管理鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃砲について記載し、銃砲の種類欄には散弾銃（ライフル銃の場合にあっては、その旨）、空気銃等の別について記載すること。
- 2 氏名欄に署名した場合、押印を省略できます。
 - 3 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

捕獲個体記録票

捕獲日:

記録者:

個体番号	□写真撮影※1		捕獲者	
捕獲場所			メッシュ番号	
捕獲方法	銃 猟(しのび猟・ 巻狩・ モバイルカリング・ 誘引捕獲) わな(くくりわな・ 囲いわな・ 箱わな)その他()			
捕獲時刻		天候	晴れ 曇り 雨 雪	
被弾部位	頭部 頸部 胸部 腹部 他()			
性別	♂	♀	推定年齢	0 1+
後足長	左	cm	右	cm 胸囲 cm
体高		cm	体長	cm
体重	kg ※原則頭部四肢付で計測			
妊娠	有(胎子) ・ 無 ・ 不明			
角	コブ 袋 枯 落	角枝数	右	尖 左 尖
栄養状態	良 並		不良	
検査者名				
行動	異常なし		異常あり ()	
外見	異常なし		異常あり ()	
搬出先				
処理方法	食肉 ペットフード 廃棄 その他()			
備考・所見				

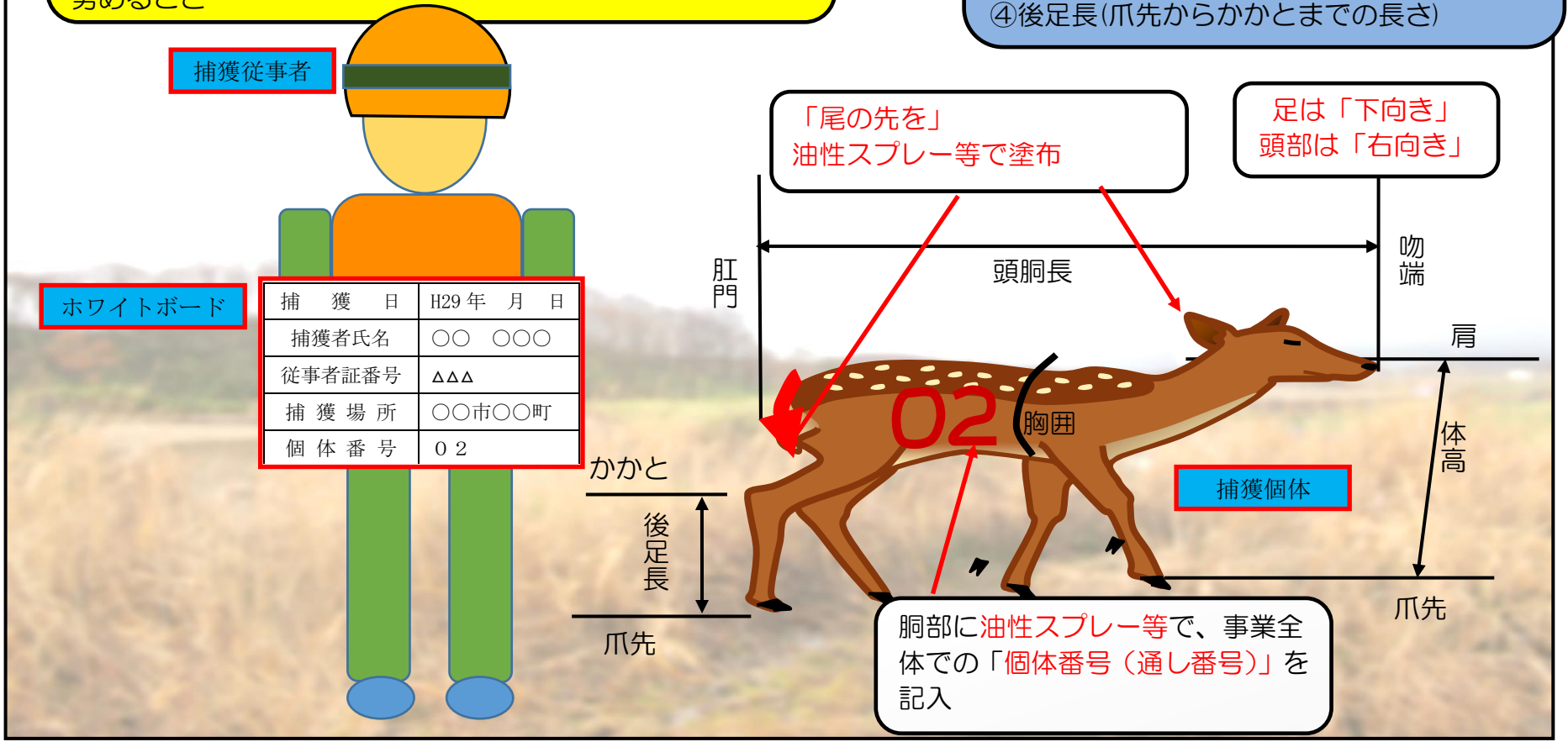
※1 捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を写した証拠写真を添付し、撮影したデータも併せて提出する(撮影方法は別紙による)。ただし、運用第2の3に基づき、搬入確認で対応することがあらかじめ決定している場合、写真の添付は不要。

※2 有効活用事業者に引き渡した場合は引き渡し先が作成した受領書を、一般廃棄物処理した場合は処分場の発行する処理票等を添付すること。

捕獲個体写真のイメージ

- ・ 捕獲従事者、捕獲個体、ホワイトボード等が写っている写真を撮影
- ・ 撮影においては GPS 機能付きカメラ（スマホ可）の使用に努めること

- 測定部位は、以下のとおり。
- ①頭胴長(吻端から肛門までの長さ)
 - ②体高(立ったときの地上から肩までの高さ)
 - ③胸囲(胸周りの長さ)
 - ④後足長(爪先からかかとまでの長さ)



捕獲従事者

ホワイトボード

捕獲日	H29年 月 日
捕獲者氏名	〇〇 〇〇〇
従事者証番号	△△△
捕獲場所	〇〇市〇〇町
個体番号	02

「尾の先を」
油性スプレー等で塗布

足は「下向き」
頭部は「右向き」

肛門

頭胴長

吻端

肩

体高

捕獲個体

かかと

後足長

爪先

爪先

胴部に油性スプレー等で、事業全体での「個体番号（通し番号）」を記入

胸囲

02

(別紙様式3)

指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲個体確認書

捕獲従事者・搬入者氏名	成獣・幼獣別	頭数	捕獲年月日	捕獲場所 (市町村等・メッシュ番号)	確認方法※	処理施設等の名称※
記載例)						
〇〇 〇〇	幼獣	1	H〇. 〇. 〇	〇〇市〇〇 メッシュ番号も記載	現地確認 尾・回収	
△△ △△	成獣	3	H〇. 〇. 〇	〇〇市〇〇 メッシュ番号も記載	搬入確認	〇〇処理加工施設
△△ △△	成獣	2	H〇. 〇. 〇	〇〇市〇〇 メッシュ番号も記載	書類確認	

捕獲確認年月日※		
確認者※		
所属	氏名	確認印

注1：太枠内は受託者が記入すること。

注2：「捕獲場所」に市町村名等及び鳥獣保護区等位置図のメッシュ番号を記載する。メッシュ番号を記載できない場合は捕獲場所の地図を添付する。

注2：「確認方法」は、現地確認、搬入確認、書類確認のいずれかを記載し、現地確認の場合は併せて尾の処理方法（回収または着色）を記載する。

注3：「処理施設等の名称」は、搬入確認において処理施設等へ搬入した場合、その

注4：確認者は、捕獲個体記録票（別記第1号様式）のほか、それぞれの確認方法に必要な証拠物や書類の確認を行い、※欄を記入する。

現地確認：捕獲個体の確認、尾の着色又は回収

搬入確認：着色のない尾がついている捕獲個体の確認

書類確認：捕獲個体写真、証拠物（捕獲個体の尾）、処分場の処理票又は有効活用事業者の受取証の確認

エゾシカ捕獲作業日報 (様式例)

日付 年 月 日 天気 晴 曇 雨 雪

雪の場合 積雪深 cm

わな設置場所:

作業者氏名:

時間帯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
作業実働																								
作業内容																								

使用機材 4トントラッククレーン付き 2トントラッククレーン付き タイヤショベル その他 ()

機材・資材

使用資材 ルーサンハイバール 圧ペン大麦 その他 ()

捕獲成果記録

成獣♂	成獣♀	仔ジカ	合計

捕獲個体の搬出先

施設名	
-----	--

捕獲個体の活用方法

食用	ペットフード用	その他 ()
----	---------	---------

※記録事項 (作業内容の詳細、ヒヤリハット関係、従事した者の氏名、その他特記事項等を記録すること)

捕獲業務日報

地区名 _____ 作成者氏名 _____ 印 _____

日時・天候	平成 年 月 日 (曜日)	天候	晴れ 曇り 雨 雪
	捕獲開始時刻 : 終了時刻 :		微風 やや強い風 強い風 非常に強い風 積雪深 約 cm
捕獲方法・捕獲場所	巻狩 ・ 忍び ・ モバイル ・ 誘引捕獲	メッシュ番号	
作業前点検及び安全管理	装備等点検 帽子 ベスト 銃所持許可証 従事者証 捕獲従事腕章 トランシーバー作動確認 銃作動点検 脱包確認 注意喚起用立て看板 その他		
	注意事項の伝達 実施体制 指揮命令系統 緊急時の連絡方法 勢子の行動 待ち・撃ちの配置 開始及び終了時の連絡方法 保安用員の配置及び役割 その他		
捕獲業務実施体制	当日の現場責任者氏名 _____ 捕獲従事者人数 名 保安要員 名 計 名 従事		
回収運搬作業員	氏名 _____	氏名 _____	氏名 _____
使用資機材	スノーモービル 計 台 借り上げ先 _____ 借り上げ先 _____ 借り上げ先 _____ 借り上げ先 _____		
	運搬車両 型式 (t)トラック 台		
除雪の状況	無し 実施 実施した除雪区間 ~ 除雪距離 km		
生息状況	約 頭の個体を目視		
捕獲成果	成獣オス 頭	成獣メス 頭	仔ジカ 頭 計 頭
業務終了時点検事故等の有無	事故、怪我の有無 事故等の状況		
ヒヤリハット事例の有無・報告確認	無し ・ 有り 発生状況		
その他	※従事者の者の氏名、その他特記事項等を記載すること		

H 年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務 捕獲実績月例報告書

○月報告分 (←報告月を記入してください)

地域名	猟法 (捕獲手法)	前月末 累計							当月分							合計						累計 捕獲 頭数 (頭)	目標 頭数		
		有効活用			一般廃棄物処理				前月末 累計	有効活用			一般廃棄物処理				当月 計	有効活用			一般廃棄物処理				
		うち食肉 (頭)	うちペット フード(頭)	その他 (頭)	埋設 (頭)	焼却 (頭)	減量化 (頭)	うち食肉 (頭)		うちペット フード(頭)	その他 (頭)	埋設 (頭)	焼却 (頭)	減量化 (頭)	うち食肉 (頭)	うちペット フード(頭)		その他 (頭)	埋設 (頭)	焼却 (頭)	減量化 (頭)				
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

注1: 当該年度における捕獲の各月末までの捕獲頭数等を記入し、翌月10日(10日が休祝日の場合、休み明けの平日)までに報告すること。

注2: 捕獲手法ごとに記入すること。

注3: 「目標頭数」欄については、合計欄に捕獲実施計画書の捕獲目標数を記入すること。

実 績 報 告 書

平成 年 月 日

北海道知事 様

住所

受託者

氏名 ㊦

業務名 令和 年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務(〇〇地域)

平成 年 月 日付で契約した上記の業務について完了したので、報告します。

記

- 1 業務完了年月日 平成 年 月 日
- 2 成果品
(1) 平成 年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務(〇〇地域)調査報告書
(2) 上記(1)の電子データ及び調査で作成した資料の電子データ
- 3 その他 成果品に附帯する著作権等一切の権利を引き渡します。

経 費 明 細 書

平成 年 月 日

北海道知事 様

受託者 住所
氏名

印

委託事業名 _____

区 分		単 価	数 量	呼 称	金 額	備 考
直接 人件費		円			円	
	小 計					
直 接 経 費	経常的					
	直接					
	経費					
	計					
経 費	特別					
	直接					
	経費					
	計					
小 計						
諸 経 費						
技 術 経 費						
合 計						
消費 税 及 び 地 方 消費 税 相 当 額						
総 計						

- (注) 1 「直接人件費」欄は、当該業務に従事した調査・研究員の月額単価別に1欄を使用して記載すること。
2 「直接経費」欄は、適宜科目を設け、科目ごとに1欄を使用して記載すること。
3 外部委員会に要した経費、再委託経費及び外注に要した経費等第三者に支払われた経費については、直接経費中「特別直接経費」欄にそれぞれ適宜科目を設けて記載すること。
4 金額の内訳を「備考」欄に記載すること。(外部委員会に要した経費、再委託経費及び外注の経費については、その内容が明らかになるように記載すること。)

令和 年エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（〇〇地域）業務報告書

1. 事前調査及び地元との調整について

※事前調査の具体的内容及び結果や土地所有者や市町村など地元関係者との協議内容について記載する。記載にあつては、事前調査ではエゾシカの出没状況や事前誘引の効果、調査結果に基づく捕獲実施箇所決定の経緯などが分かるように記載すること。地元との調整については、地元関係者からの聞き取りによるエゾシカ被害や生息状況、事業実施にあつての地元からの要望事項などが分かるように記載すること。

※事前調査及び地元調整を行った日毎の明細を別添様式1に記載し、添付すること

2. 捕獲準備から捕獲実施、捕獲結果について

※捕獲作業の実施から捕獲結果までを記載する。記載にあつては、捕獲手法の詳細と実施体制、及びその捕獲結果から判断される効率性や餌誘引の効果などが分かるように記載すること。また捕獲実施にあつて支障となった点や課題、今後の反省点などについて記載すること。

※捕獲努力量及び捕獲実施日毎の明細を別添様式2に記載し、添付すること。また作業日報(別紙様式3)を添付すること。

3. 捕獲個体の処理

※捕獲個体の処理結果について記載する。記載にあつては、有効活用する上で課題となった点について、捕獲された個体の状況や有効活用する事業者の受入要件などの視点から記載すること。また廃棄物処理した個体について、その処理方法や課題について記載すること。

※捕獲個体記録票（別紙様式2）を添付すること

(別紙様式8)

4. その他

※その他、事業実施全体にあつて支障となった事項、要改善点などがあれば記載すること。

※業務担当員及び関係者との協議・打合せ内容等を添付すること。

